

2 入学までにこんなことを

《生活面》

小学校生活は、時間割にそって規則正しく行われていきます。まずは、この生活リズムになれることが大切です。また、集団生活の中では、着替えやトイレなど基本的な生活習慣について、自分のことは自分でできる必要があります。

3月末までに時間をかけてゆっくりしつけましょう。

1 自分のことは自分でできますか。

- 早寝、早起きができる。
- ひとりで、着替えができる。
- 持ち物の整理がひとりでできる。
- 洗面、歯みがきができる。
- トイレの正しい使い方ができる。(和式・洋式)



※ 佐敷小のトイレは、洋式が男女1カ所ずつになっています。

2 思ったことがはっきり言えますか。

- 「おはよう」「ありがとう」「ってきます」など、基本的なあいさつができる。
- 「はい」「いいえ」の返事ができる。
- 目上の人にていねいな言葉づかいができる。
- 自分の思ったことや、考えたことがはっきり言える。

3 友だちと仲良くできますか。

- クラスの友だちと遊んだり協力して活動できる。

4 食事のマナーは身につけていますか。

- はしやフォークが正しく使える。
- 口に食べ物を入れたままおしゃべりをしない。
- おわんやお皿をきちんと持って食べる。
- 食事は20分程度で食べ終わるようにする。



5 安全に気をつけていますか。

- 通学路が分かり、道路の正しい歩き方が分かる。
(親子で通学路を歩いて、危険な場所がないか確かめましょう。)
- 横断歩道の正しい渡り方ができる。
- 事故から身を守るために必要なことが分かる。
(知らない人についていかない。一人で海や川へ行かない。)



6 その他

- 朝食をきちんととれる。
- 自分の名前、保護者の名前、住所、電話番号が言える。
- マスクをしっかりと着用する。
- 靴下、上履きに慣れる。(短時間で脱がない)

しつけのポイント

「わたし、もうすぐ1年生なの！」「ぼく、早く1年生になりたいな！」
今、お子様は、小さな胸を大きな風船のように膨らませています。そして、風船はやがて、無限の大空へ向かって飛び立つのです。

ところが、お母さんの方が「うちの子は大丈夫かしら。」「みんなについていけるかしら。」と、ともすれば不安の方もいらっしゃることでしょう。

大切なことは「学校は楽しいところ」という期待を持たせてあげることです。神経質に考えず、明るい気持ちでお子様と一緒に過ごしましょう。

1 ほめて、はげまして

- ・ ガミガミ怒ると、子どもは学校ぎらいの子、自信のない子に育ちます。
- ・ 小さいことでも、ほめて、はげましてあげましょう。

2 ていねいに、根気よく

- ・ ていねいに教えること、根気よくやらせてみるのが大事です。できるようになるまで、少しずつでも続けさせましょう。

3 子どもの顔を見て

- ・ 話を聞く習慣が身についていない子はよそ見が多くなります。
- ・ 人の話をよく聞く子にするには子どもの顔を見て話しかけましょう。

4 よく聞かせて、わからせて

- ・ 聞く力は、すべての学習の基本になります。集中力、すなわち、聞く態度ができている子は、勉強がよくできるようになります。

非難ばかり受けて育った子は 非難ばかりします。

敵意に満ちた中で育った子は 誰とでも戦います。

冷やかしを受けて育った子は はにかみやになります。

ねたみを受けて育った子は いつも悪いことをしているような気を持ちます。

心が寛大な人の中で育った子は がまん強くなります。

はげましを受けて育った子は 自信を持ちます。

ほめられる中で育った子は いつも感謝することを知ります。

公明正大な中で育った子は 正義感を持ちます。

仲間の愛で育った子は 世界の愛を見つけます。 【インディアンの教えより】

《学習面》

小学校では、45分間自分の席について、先生の説明や友だちの発表を聞いたり、教科書を読んだり、文字を書いたりする授業が10分の休憩をはさんで行われます。子どもが集中して、根気よく勉強を続けることができるために、ぜひ家庭で身に付けさせて欲しい5つのポイントをお知らせします。

1 目を見て聞いたり話したりする



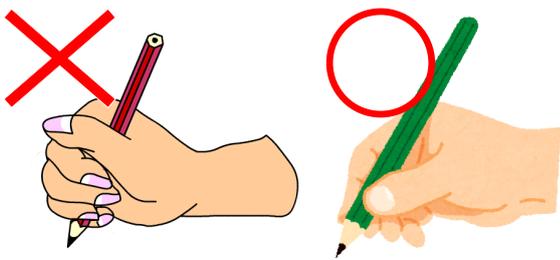
子どもが何か頼みにきたり、分からないことを質問してきた場合にも、おうちの方は横を向いたままで聞いたりせず、必ず子どもの目を見ながらいねいに聞いてあげてください。子どもを落ち着きのある子に育てるためには、多少忙しくても、子どもの目を見ながらいねいに話し合うことが大切です。

2 正しい姿勢を身に付けさせる



悪い姿勢では、一定時間席について勉強を続けていくことはできません。反対に、正しい姿勢が習慣化できた子は、集中力と根気のある子になっていきます。良い姿勢をとるためには、背筋の発達が必要です。本を読む時も、食事の時も、テレビを見る時も寝ころんだり、背中を丸めたりせず、きちんとした正しい姿勢をとるようにしていきましょう。

3 鉛筆を正しく持てるように



鉛筆を正しく持つことにより、早くきれいに書け、指も痛くなりません。悪い持ち方をしている子は、いつまでたってもその癖が抜けず、高学年になるほど勉強するのが苦痛になってきます。おうちで鉛筆を使う際は、正しく持てるようにしましょう。

4 文字に関心を持たせよう

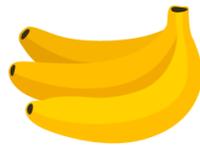
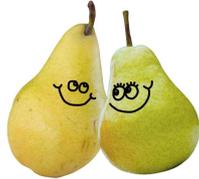
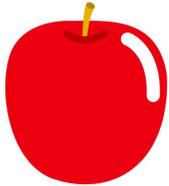


「あいうえお」からはじまり、1学期の間にすべてのひらがなの読み書きを習います。入学前に、自分の名前や身近な物の名前が読めると学習がスムーズに進みます。読み聞かせは文字や学習への興味を持たせる良い方法とされています。進んで読み聞かせをしてあげてください。

5 数に関心を持たせよう

2個のおかし、3枚のお皿、4つのタイヤ、5本の指・・・などは、「一、二、三・・・」と指で数えなくても、すぐ答えられるようにしておきたいですね。

そのためには、台所仕事をはじめ、お掃除やおつかいなど、いろいろなお手伝いをさせておくことが大切です。



《文字指導のポイント》

ご家庭で文字の練習をさせるときには、次の点に注意しましょう！

- 正しい鉛筆の持ち方を教えましょう。
(鉛筆の持ち方の図を参考にして下さい。)
- いろいろな方向の線を書く練習をたくさんさせましょう。
(力を入れて、始めと終わりをしっかり止めて書く。4Bのやわらかい鉛筆を使う。)
- 自分の名前を見て、ロッカーや靴箱が探せるようにしておきましょう。



◇ 1年生はこんな学習をします

◇ 1年生はこんな学習をします

★国語

- ・ひらがな(1学期50音)
- ・カタカナ(2学期50音)
- ・漢字(2学期57字 3学期23字 計80字)
- ・短い文(原稿用紙の使い方)

★算数

- ・10までの数～100より大きい数
- ・時計の読み方
- ・長さ・多さ・広さ・形あそび
- ・文章問題

(国語) 4月からひらがなを教わり、1学期ですべて習います。7月頃には少し長い文章を読みとる勉強と簡単な文章を書く学習が入ってきます。1学期後半から2学期にかけては山、川などの基本的な漢字も習い始めます。並行して、カタカナ(50字)も学習します。

(算数) いろいろなものを、形や色で分類したり、数えたりする学習から入ります。5月末頃までに10までの数について学び、「3と5で8」とか「5は2と3」といった合成・分解から、足し算・引き算に発展させていきます。1学期末には20まで、2学期からは100までを学びます。

★生活

- ・学校探検
- ・生き物・植物などの飼育、栽培
- ・自然の観察・遊び
- ・家の仕事・家族

★体育

- ・おにごっこ、ボール遊び、マット遊び、跳び箱遊び
- ・プールでの水遊び、てつぼう遊びなど

(生活) 直接体験が重視され、体験を通して子どもたちに学習方法を身に付けさせようというねらいがあります。例えば、アサガオを育てながら広くまわりの自然に目を向けていきます。

(体育) おにごっこ、ボール遊び、マット遊びなどで楽しく遊び、運動をします。夏には、プールで水遊びもします。遊びを通して安全に注意したり、ルールを守ったり、友だちと協力する態度なども学びます。

(音楽) 元気な声で歌ったり、体でリズム表現をしたりします。鍵盤ハーモニカを使って指使いを勉強し、簡単な曲が演奏できるようにします。簡単なリズム楽器を鳴らしたり、音楽鑑賞もします。

★音楽：

- ・歌唱
- ・鍵盤ハーモニカ（指使い）
- ・リズム表現
- ・音楽鑑賞

(図工) クレヨンや絵の具、粘土や紙などいろいろな材料を使って、描画や工作をします。

★図工

- ・クレヨン・絵の具を使っての表現
- ・粘土遊び
- ・工作

★道徳

- ・自分の良さに気づき、身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることなど

(道徳) 自分の良さに気づき、身近にいる人に温かい心で接し、親切にする態度などについて考えたり、友達の意見を聞いて学んだりします。

(食育) 好き嫌いせずバランスよく食べることの大切さを学習します。

(タブレットを活用した授業) GIGAスクール構想により、児童1台のタブレットが活用できるようになりました。

(スタートカリキュラムについて) 幼稚園、保育園、認定子ども園等から小学校への接続をスムーズに行うため、5月前半までスタートカリキュラムに基づいた教育課程を行います。

3 学用品や持ち物について

(1) 学校で用意するもの



- ① 学用品など
 - 教科書・・・入学式の後、教室で配ります。
 - 名 札・・・入学式の当日、学校で付けます。

- ② その他の教材（徴収金袋で、毎月お金を徴収します。）
 - テスト・プリント・ドリル類
 - 工作教材
 - 各教科の学習ノート
 - とびなわ（短縄）

- ③ 学校で購入する学習用品 （R 5 4月分・・・参照）

○ロッカー用ボックス	・・・	1 1 0 円
○アサガオの栽培セット	・・・	6 0 0 円
○ねん土	・・・	3 5 0 円
○連絡袋	・・・	2 5 0 円
○国語ノート	・・・	1 0 0 円
○算数ノート	・・・	1 0 0 円
○自由帳	・・・	1 0 0 円
○ひらがな、すうじのけいこ	・・・	3 7 0 円
○連絡帳	・・・	1 1 0 円
○集金袋	・・・	6 0 円
○連結フォルダー	・・・	1 5 0 円
○名札	・・・	2 0 0 円
○名札クリップ	・・・	3 0 0 円
○のり	・・・	1 3 0 円
○共同購入費	・・・	7 0 円

合計 3,000 円

*購入品は、これから決定するのであくまで例とします。

*学習用品の代金は、4月の徴収金で集めます。

(2) 家庭で用意するもの

ランドセル



- ランドセル・・・入学式当日に持ってきます。
 - ・教科書を入れて持ち帰ります。

※不審者対策の面でも、登下校時に外から見えないところに記名をお願いします。

ふでばこ



- 筆箱・・・できるだけ無地でシンプルなものが良い。
 - ネームペン・・・1本
 - 消しゴム・・・無地のもの。
- ※香料の入ったものやおもちゃ的なものは控える。



- 鉛筆・・・かきかた鉛筆4B以上を5本。
 - ・1本1本に記名をする。
 - ・百均の鉛筆は不可。
 - ・無地
- ※鉛筆キャップは不要です。

下じき



- 下敷き・・・無地で厚めのものが良い。

はさみ



- はさみ・・・利き手用（学校に常時おいておきます。）

※キャラクターの絵がある物は、学習の集中力を妨げる原因になるので、できるだけ無地かシンプルな物を準備してください。

水とう



記名場所

○水筒・・・肩掛けひもあり。(水筒ホルダー可)

※登校時や校外学習、教室外での学習時など移動の際に、両手が空くので安全です。

水とう



※落としても割れないステンレス製等の水筒を安全面からも推奨しています。

ウラの 目立つ場所に 記名を



カップ

○カップ

※かさは交通安全面から危険です。

※1年生ではカップを推奨しています。

運動着



○運動着・・・学校指定の紺色半袖シャツ

・学校指定の紺色半ズボン

・赤白帽子 (ゴムひも付き)

*運動着は洗濯を考えて2セットは必要です。

(上着・ズボン・赤白帽)

*これまでの体育着も使用できます (お下がり可)。



○うわばき・・・教育用シューズ (体育館シューズを兼ねる。)

*うわばき入れの袋を手作りする方は、ひもの長さを長くしないで下さい。

(つり下げたときの全長が、50センチ以内になるように。)

